

嘉麻市社協だより

4月から一年生。
元気いっぱいがんばるぞ！
～めぐみ保育園～

えがお



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

No.
85

発行日 2013.3.1

ひきこもりをみなさんと一緒に考えていくというところで、3回シリーズで寄稿をいただいています。第3回目となる今回は、うきは市でひきこもり相談支援員をしている榎藤俊介さんから担当した事例について、お話いただきました。

ひきこもり支援の現場から

皆さんは不登校やひきこもりの方をご存じでしょうか。数年前、新聞等でも「内閣府発表 ひきこもり70万人」と大きな見出しが出たこともありました。私は平成22年からうきは市社協にて不登校やひきこもりの方に対応する相談支援員として働いています。今まで多くの相談に対応してきましたが、今回は私が対応したAさんについて少し話をしたいと思います。

まず、学校・保護者・相談員で集まり、今後の方針を立てていく事から開始。Aさんの学校での状況、趣味、好きな物……とにかくAさんに関する細かい材料を集め、家族との関係性も含めた上で聞き取りました。結果、ゲーム好き、体育が得意で活発、両親が共働きで最近では少ししか会話をしていない、人見知りなど、沢山情報を頂く事ができました。

これを元に両親から本人へ相談員と会ってもいいかとの確認をとり、初回から許可をもらいました。すんなり許可してくれたなど喜びつつ訪問すると、家のカギは閉まったまま。Aさんは大丈夫と言ったものの、どんな人間が来るのかわからない事にプレッシャーを感じていたのです。少しでも不安がとれればと私はAさんに手紙を書きました。この行程が1ヶ月半程度続きました。

ある日訪問をする、家の鍵が開いており、「Aさん」と声をかけるとふすまの奥の方から声が聞こえました。「玄関開いているけど、ふすまは開けないで！」と強い口調で指示する声に私は嫌だなと思う事はしないので、まずはふすまの前に座っていいかな？とすると、ふすまを少し開け、「どうぞ」と初めて部屋に通してくれました。これがAさんと初めての対面でした。

ここからAさんとの距離感には急速に縮まります。本人の好きなテレビゲームを通じて一緒に笑い、休んでいる間が心配だという事で勉強のサポート等を行う中で、多くの前向きな発言が出てきました。

その数週間後、Aさんはフリースペースにて活動を開始。年上の方(他の不登校・ひきこもり当事者)ともコミュニケーションを図り、表情が明るくなりました。ある日の帰り際、残っていたAさんがふと私に「榎藤さんは私の心の中何%知ってるの？」と投げかけてきました。「話したくないことも沢山あるだろうから、きつと80%位かな？」とごまかしながらも、内心かなり冷や汗をかいていたのを覚えています。

やがて運動会のシーズンに入り、所属している小学校でも運動会の練習が始まりました。運動が得意という話を聞いていた私は、運動会に参加したいか確認をすると、本人は頷いたので、学校と連絡をとり、練習・授業・給食の様子をビデオ撮影。最後にクラスメイトからのビデオレターを添えたのです。翌日訪問した時に、一人で見たと言ったのでDVDをそのまま置いてきたのですが、毎日繰り返し練習を重ねていました。

この間に家族の向き合い方も変化しました。家族会議でAさんとの会話が少なかったとの話になり、母と兄はAさんと一緒に散歩を始め、夜勤が多い父も休憩時間には電話をかけ、何気ない事でも話をするようになりました。これによって「休んでいる」という事実を否定せず、「Aさんが元気である事が何より幸せなんだ」と伝える作業を行ったのです。

その結果、学校の保健室、給食室、校長室へと少しずつ自分で設定した課題をクリアし、同級生が呼びに保健室に来たとき、「教室に行こうかな……」そう言うAさんは羽ばたいていき時間を感じるかもしれません。長いAさんにとって自分を見つめ



社会福祉法人 うきは市社会福祉協議会
ひきこもり相談支援員 榎藤 俊介

活躍の場がない若者たち

2月9日、ひきこもりの問題に対して社協がどう向き合うべきなのかを考える社協職員合同研修会が、大野城市総合福祉センターでありました。

秋田県藤里町社協が行っているひきこもり支援について、菊池まゆみ事務局長が講演され、その後、約80名の参加者が12のグループに分かれ、討議を行いました。

藤里町社協では、平成18年度に実施したひきこもりに関する調査で、人口4000人の町に約100人のひきこもりの方(18歳～55歳)がいるという予想を超えた結果が出たそうです。

そして、その方たちが集えるようにと、地域の交流の場であり、福祉の拠点となる「こみっと」という施設を作り、中間就労施設としてのレストランでの職業訓練、ヘルパーやパソコンの資格を取るための求職者支援活動などを実施しています。

また、家からなかなか出て来られない方には、定期



的に訪問し、「社協があなたのことを気にしています」とのメッセージを発信されているそうです。

菊池事務局長の「彼らは、ひきこもっているのではなく、活躍の場がなかっただけ。」との言葉に、ちょっとした後押しがあれば、社会復帰に向けて一歩を踏み出すことができることを強く感じました。

藤里町社協の調査結果を数字だけおきかえると、本市に約1000人のひきこもりの方がいることになります。ひきこもりは、ご本人はもちろんそのご家族も、大きな不安や悩みを抱えています。他人にはなかなか相談しづらい、言いにくいこととして、家庭の中に埋もれています。本会では、その方たちの声を聞きながら、いろいろな支援事業を展開していきますので、ひきこもりに関する相談は、下記までお問い合わせください。



ご相談・お問い合わせ

☎0948-42-0751 (担当 木原・溝口)
E-MAIL tiiki@kama.syakyo.com

社協だよりが変わります

嘉麻市社協だより「えがお」も来年度で創刊8年目に入ります。

これからもみなさんに親しみを持って読んでいただけるよう、来月号から紙面をリニューアルします。福祉や地域に関する情報を発信するだけでなく、たくさんの方に参加していただけるような「えがお」にしていきたいと思います。

このコーナーでは、市内で開催されている「ふれあい・いきいきサロン」の様子をお伝えしています。

2月5日(火)、神幸集会所で開催されたふれあい・いきいきサロンにおじゃましました。開設から10年目を迎える「友愛会」のサロンの特徴は、みんなでおしゃべりを楽しむことだそうで、毎回特別な催しをするわけではなく、メンバー手作りの食事をとりながら、いろんな話をします。

この日も、15人の女性の方が参加され、健康のことや家族のことなど、会話が弾んでいました。最高齢という91歳

の日高スミエさん

は、「月に一回こうしてみんなに会えることを楽しみにしています。」と話します。一人暮らしの日高さんに参加者同士でサロンの参加を呼びかけたり、帰りは家まで送ったりと、自然と気配りをされています。

美味しい食事の後は、手作りの輪投げゲームで盛り上がり、会場には元気なかけ声とともに、みなさんの笑顔が溢れていました。



美味しい食事をとりながら会話が弾みます。



輪投げゲームで盛り上がりました。

今後の活動の参考に

福祉推進員ブロック懇談会

稲築地区には、地域福祉のリーダー役を担う福祉推進員が27名おられ、2カ月に1度は、その方たちが集う定例会を開催し、情報交換などを行っています。また、年に一度、地区を5つのブロックに分けたブロック別の懇談会を開催し、より身近なエリアでの情報や意見交換を行っています。

今年度の懇談会は、他の行政区で実施されているふれあい・いきいきサロンを見学し、今後の活動につなげていくということで、昨年12月から2月にかけて実施しました。

第1、2ブロックが稲築才田サロンを、第4ブロックは、鴨生第二サロンを、第5ブロックは山野第一サロンを見学しました。

参加した福祉推進員のみなさんは、各サロンの和やかな雰囲気や、自分の地区との内容の違いを感じられ、今後の参考にと、熱心に質問されていました。



山野第一サロン



鴨生第二サロン



稲築才田サロン

地域で広げよう 子育て支援の輪

現在リユースセンターには、入園や入学を控えて、中学校や高校等の制服や体操服を探しているという問い合わせが増えてきています。卒業によってその役目を終えたものがありましたら、リユースセンターにお寄せください。また、仕事の都合などで来所することが難しい方は、本会のブログをご覧ください。新着情報等も分かりますので、ぜひチェックしてみてください。



子育てブログ 随時更新しています。

嘉麻市社協ホームページ <http://kama.syakyo.com/>
(こちらから子育てブログを見てください。)

《リユースセンターのお問い合わせ先》 碓井千歳会館 ☎62-3538
《開館日時》 月曜日～金曜日(祝日は除く)9:00～17:00



お寄せいただく際は、洗濯をお願いいたします。また、ネームは外すなどしてください。



みんなで楽しいひとときを、、、

毎月第3水曜日の午前10時30分から、碓井千歳会館において、子育て中の方などが気軽に参加できる「おしゃべりサロン」を開催しています。今回は、お気に入りの子どもの写真をレイアウトするスクラップブッキングに挑戦し、思い思いの作品が出来上がりました。



子どもの写真を大切に
保存できる
スクラップブッキング♪



出来上がったものは
お母さん方の
アイデアが光っています。

3月は、第3水曜日の20日が祝日のため19日(火)に開催し、ゲーム大会をする予定です。みんなで楽しい時間にしたいと思っていますので、ぜひ遊びにきてください。



毎回、子どもたちは
託児ボランティアの方と
一緒に楽しく遊んでいます。

「こども目線♥かまっぴ♥No.13～春号～」発行しました

3月1日、第13号となる子育て情報紙「こども目線かまっぴ」を発行しました。今号は、嘉麻市近郊で活動している子育てグループの紹介や子どもが大好きなレシピなどいろんな情報を掲載していますので、ぜひ読んでみてください。



市内各庁舎や図書館、子育て支援センター等に配布しています



編集会議の様子

毎回寄ってこハウスで記事作りをしています。難しい文章を書くわけではなく、子育てに関するいろんな情報を交換しながら楽しく進めています。こんな記事があったらいいな等、みなさんのアイデアも募集していますので、関心のある方はご連絡ください。お待ちしております。

《お問い合わせ先》 嘉麻市社会福祉協議会
☎0948-42-0751 E-mail tiiki@kama.syakyo.com

かまボランティア 市民活動センター情報

2013年
3月

ボランティア体験記

今回は、冬休みに日中一時支援事業所で障がいがある子どもたちとふれあうボランティアに初めて参加した吉良 理沙子さんに体験記を書いていただきました。



嘉穂総合高等学校
嘉麻市立大隈城山校

1年 吉良 理沙子さん

ボランティア活動に参加して、子ども達と話せて良かったと思います。2人で7人の子ども達と遊ぶことはあたふたしてしまう場面もあり大変でしたが、自分自身が成長できたように感じて本当に良かったです。同じ年の女の子が帰る間際に寂しがって手を離してくれなかったことは、自分の存在を認めてくれたこととして嬉しかったです。

対応の仕方は最初から戸惑うことばかりでびっくりの連続でした。



特に「一緒に寝よう」と言われたときはドキドキしましたが、心臓の鼓動を共有して、いつの間にか私も眠くなってしまいました。一人一人に個性や特徴があり、同じ対応をしては感じ方も考え方も違うという貴重な体験をさせていただきました。これからもチャンスがあれば積極的にボランティア活動に参加したいと思いました。

ボランティア募集情報

春休み期間中のボランティア

本会では、障がいのある子どもたちと一緒に遊んでいただける方を募集します。

日時 3月20日(水)～4月6日(土)
8時30分～17時
※日曜日は除きます。
※ご都合の良い時間帯だけで構いません。

場所 嘉麻北日中一時支援事業所
(嘉麻市鴨生339)
嘉麻南日中一時支援事業所
(嘉麻市上山田502-6 山田ふれあいハウス内)

内容 子どもたちの遊び相手、勉強の補助など

備考 動きやすい服装でご参加下さい。
また、時間帯によっては弁当、飲み物を
ご準備下さい。

障がい児バスケットボール教室の ボランティア

福岡県障害者スポーツ協会が主催する
バスケットボール教室の
ボランティアを募集します。

日時 3月7日(木)、14日(木)、21日(木)
18時30分～20時

場所 サン・アビリティーズいづか
(飯塚市柏の森956-4)

内容 バスケットボール教室の指導補助

備考 動きやすい服装でご参加ください。
また、上履き、タオルをご準備下さい。

《お問い合わせ・お申し込み先》 かまボランティア・市民活動センター ☎0948-42-0751

山田ふれあいハウス閉館時間変更のお知らせ

平成25年4月1日(月)～平成25年10月31日(木)まで、閉館時間が午後7時に変更となりますので、お知らせいたします。

お問い合わせ先

山田ふれあいハウス
嘉麻市上山田502番地6

☎0948(52)1847

嘉麻市社会福祉協議会指定
葬祭場紹介

ひさつね会館

嘉麻市上山田971-4
☎(0948) 52-0758

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定をお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、ひさつね会館を含め、市内に8カ所あります。

いすや会館……………☎57-4444
セレモニーホールおおつか……………☎52-1212
かほ葬祭 あじさい会館……………☎62-5566
善光会館 稲築会場……………☎83-5000
おかむら葬祭 岡村会館……………☎42-4420
飛鳥会館 南斎場……………☎42-4241
きど葬祭やまさ碓井斎場……………☎62-4499



●24時間対応いたします。

ひさつね会館では、すべての方にご満足いただける、真心をこめた葬儀を執り行わせていただきます。
また、事前相談も承りますのでお気軽にお問い合わせください。



永嶋さん 久恒さん 大石さん 吉村さん

「読めば答えが見つかるかも」 社協だよりクイズ？

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

問題

3ページにおいて、ひきこもり支援を行っている藤里町社協があるのは、どの県でしょうか。

- (1) 福岡県
- (2) 静岡県
- (3) 秋田県

◆応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号、住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、3月31日(必着まで)に、ハガキ、またはEメールでご応募ください。

◆送付先

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail tiki@kama.syakyo.com

◆前号のクイズの答え(1)

八女市の取材において、星野川近くで出会った下川好成さんの畑に咲く花は菖蒲でした。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきまして、ご紹介します。

・中学生がボランティアに参加している姿を見て、感銘を受けました。

・毎号楽しみに夫婦で読んでいます。いろんな情報が分かりやすいです。他地区のことも興味深いです。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

私の故郷

48年ぶりに大隈中学校の同窓会に参加させていただき、クラスの皆さんと顔を見合って話しをしていると、子どもの頃の思い出が昨日のように感じられます。



愛知県日進市在住
酒井早苗(旧姓 坂田)さん
大隈出身

幼い頃、春には満開の桜や菜の花畑に囲まれ、寝そべってはその香りに包まれながら輝く夜空を見上げ、ロマンチックに夢を膨らませたものでした。男の子たちと危険な事にも挑戦しました。(相当のお転婆でした。)秋になると裏山に登って果実をとり、山の頂上で大きな声でこだまの響きを楽しむのが日課でした。本当に楽しい日々でした。今でも故郷の山並み、夕焼けの美しさは目に焼きついています。冬にはスズメなどを取るための罠作り、薪で沸かす風呂焚きの手伝いをしながら、砂糖醤油に付けて食べた焼き鳥の味は本当に美味しく、二度と味わうことは出来ないでしょう。春夏秋冬、その時々思い出は尽きることなく浮かんできます。

昭和37年、高校受験間近に家庭で突然の悲劇があり、進学を諦め故郷を離れることになりました。着いたところは愛知県刈谷市でした。仲間5人と同じ会社に入社。明るい友と楽しい日々を過ごすことが出来ました。近くに祖母がいたので、寂しい思いはしませんでした。二十歳で結婚し、3人の子どもに恵まれ、子どもの成長と共に忙しくも楽しい日々を過ごしてきました。成長するにつれ、親として子どもの将来を考え、教育の事を一から勉強し始めました。習い事をし、資格も取得して、現在でも資格を取ることに挑戦しております。今では子どもも独立し5人の孫にも恵まれ、趣味の絵画で故郷の風景なども描いております。絵画展などにも出展して賞なども頂いております。

強気の私でしたが、なんと言っても女の子。色々困難もありました。ここまで頑張ったのは、故郷の父からの毎月1回の便りがあったからだと思っています。人が生きていく為の説法、移りゆく季節の風景、時には四季の押し花などを便箋の片隅にこそっと忍ばせ、故郷の香りを忘れさせない為の親心があったからだと思っています。私の故郷はいつまでも変わらぬ、かけがえのない宝物です。



この炭鉱の記憶を取材する際、わからないことがあると、助け舟を出してくださる方が何人かいらっしゃいます。その一人である坂本弘之さん(下臼井西在住)は、ご自宅に私設の炭鉱資料館があるほど、炭鉱に関する貴重な資料をたくさん持っておられ、いつも頼りにさせてもらっています。

その坂本さんから、一枚の地図を見せていただきました。(写真左上)明治44年に開業した麻生吉隈炭鉱

の鉱所内地形図で、碓井地区だけでなく、桂川町にまで広がっており、選炭場や職員風呂、社宅などがあった当時の場所が詳細に記してありました。

現在の下臼井周辺には、どんな施設があったのだろうかとひとつひとつ探しているうちに、蒸気汽缶場という言葉を見つけました。昭和6年まで、動力の源であった蒸気を作り出すところだったそうで、そこに水を送るための貯水槽が現存していると伺い、坂本さんに案内していただきました。急な坂を上り小高い丘に出ると、畑の一角にコンクリートの貯水槽が二つ並んでいました。(写真左下)



いくつかあった貯水槽の一部だそうで、気に留めておかないと見過ごしてしまいそうなくらい、ひっそりとたたずんでいましたが、そのどっしりとした造りから、炭鉱の繁栄に欠かせない大事な役割を担っていたことを感じました。

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。(TEL 0948-42-0751)



みなさまの善意、
心より厚くお礼申し上げます。

寄附・香典返し

1月1日～1月31日受付分

●香典返し

【稲築才田】

親族 西野 文子 様

故 西野 鶴夫 様

【西岩崎】

親族 高嶋 清香 様

故 高嶋 輝幸 様

【口春】

親族 高木 彬 様

故 高木 ミサヲ 様

【山野第二】

親族 平嶋 國生 様

故 平嶋 喜代美 様

【鴨生第二】

親族 小篠 啓美 様

故 小篠 信次 様

【鴨生第二】

親族 高朴 廣吉 様

故 高朴 今玉 様

【漆生東】

親族 渡部 田鶴子 様

故 渡部 光男 様

【平東】

親族 丸山 光男 様

故 丸山 敏子 様

【飯田】

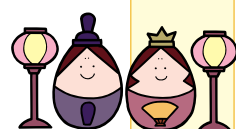
親族 縄田 恵子 様

故 縄田 徹 様

【西郷】

親族 有田 勢津子 様

故 有田 國夫 様



【神幸】

親族 伊藤 藤サチコ 様

故 伊藤 藤金造 様

【下宮】

親族 林田 一輝 様

故 林田 昌子 様

【木城】

親族 平嶋 愛子 様

故 平嶋 美奈子 様

【大橋】

親族 乾 繁夫 様

故 乾 スミエ 様

【さくらが丘】

親族 鵜川 政則 様

故 鵜川 政則 様

【三菱第一】

親族 宮川 富士夫 様

故 宮川 小夜子 様

【中山田下】

親族 松田 大助 様

故 松田 ヒデコ 様

【立石】

親族 山崎 輝男 様

故 山崎 勝男 様

【新原】

親族 猿本 トメ子 様

故 猿本 トメ子 様

【五日町】

親族 居石 康子 様

故 居石 康子 様

【上西郷】

親族 星野 ミユキ 様

故 星野 ミユキ 様

【牛隈北区】

親族 坂本 芳春 様

故 坂本 芳春 様

【東馬見】

親族 縄田 茂 様

故 縄田 照美 様

【椎木】

親族 田中 光政 様

故 田中 新光 様

【上】

親族 井井 子エ子 様

故 井井 友文 様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様

【子育てリユース】

漆生中央 横山貴代美 様

口春 永富 明子 様

漆生老松 増田さと子 様

鴨生北町 服部 陽子 様

石ヶ崎 渡邊 綾 様

三日町 石井美由紀 様

田川市 小松 直子 様

【アルミ色】

漆生本村 匿名 様

漆生南部 市原登志彦 様

東岩崎 松岡 光 様

鴨生第一 伊藤喜代益 様

銭代坊 竹内日出勝 様

熊本 中島 政美 様

熊本 中嶋 久光 様

六四田 松田 敏雄 様

大橋 姉川 亮太 様

中央 明石 睦則 様

石ヶ崎 渡邊美千代 様

【リングブル】

山野第一 粉井 高利 様

山野第二 中原 日枝 様

新山野 原田せいこ 様

鴨生北町 山崎 恵子 様

木城 栗原 伊織 様

木城 栗原 伊吹 様

木城 樋口えり子 様

中央 明石 睦則 様

石ヶ崎 桃崎 晃大 様

石ヶ崎 桃崎 奏大 様

石ヶ崎 渡邊美千代 様

上西郷 大谷 一喜 様

下牛隈 川原 咲 様

嘉穂町レクリエーション 研究会 様

初井電器商会 様

嘉穂三山愛会 様

益田石油 様

嘉穂町ソフトバレー 様

【古切手】

山野第二 古賀 絹江 様

鴨生第一 伊藤喜代益 様

石ヶ崎 渡邊美千代 様

下牛隈 川原 咲 様

嘉麻市税務課市民税係 様

福岡銀行稲築支店 様

（有）山田電気 様

教育ナビゲーション（株） 様

【使用済テレカ】

鴨生第一 伊藤喜代益 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご加入いただきました。

（敬称を省略させていただきます）

1月1日～1月31日受付分

【口春】山崎重行、野元由美子、福

澤豊、井手久、渡辺俊憲、西田研

一、福澤末男（二口）、星川初秀、

松村丸庫、沖正夫、福田秀明、山

下弘之、池野末光、滝本信一、森

太、日下部和幸、仲西朋子、橋本

武彦、吉田宏正、上野博幸、奥野

康子、石井公江、下原英子、福澤

弥生、宮田悦子、山下栄子、野見

山純子、福永美津子、篠寄年江

【鴨生町】角田歩、小島レイ子、高

津嘉子、国房恒子、佐敷誠、北添

誠、大原義子、光延義久、許斐富

美子、篠田芳子、梶原謙蔵

【辻中籠】上提政明

【漆生東】浦ハツヨ

【飯田】鬼丸千枝子、前畠ミドリ、

滝本アキノ、山口弘子、児玉秀子

【上】熊本半



4月の総合相談

法律相談は予約が必要です。
先着順となっていますので、
お早めにお申し込みください。

法律相談

と き 4月4日(木) 13:00~16:00
と ころ 山田ふれあいハウス

と き 4月18日(木) 13:00~16:00
と ころ 稲築住民センター

心配ごと相談

と き 4月10日(水) 13:00~15:00
と ころ 稲築住民センター

と き 4月24日(水) 13:00~15:00
と ころ 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

福祉のまちづくりのために

嘉麻市社会福祉協議会では、市民のみなさんとともに福祉のまちづくりを推進していくため、会員を募集しています。年間を通じて受け付けていますので、ぜひ、ご加入ください。

■会員の種別と金額 一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 1,000円/年額
お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751

コラム募集

本紙10ページに掲載しているコラム交差点では、みなさんからの「声」を募集しています。

テーマは特にありませんので、日常の中で感じておられることなどをぜひお聞かせください。

掲載には、いくつかの条件がありますので、同意された上での申し込みをお願いします。

☆原稿について

- ・字数は、800字以内です。
- ・タイトルの有無は問いません。
- ・氏名を必ず記載してください。

☆コラム掲載について

- ・コラムとともに投稿者の氏名を掲載します。
- ・掲載する場合には、投稿者に事前連絡いたしますので、連絡先を忘れずに記載ください。

☆応募方法

- ・氏名、住所、連絡先を明記の上、E-MAIL、郵送、FAXのいずれかの方法でご投稿ください。

E-MAIL tiiki@kama.syakyo.com

郵送先 嘉麻市岩崎1143番地3 嘉麻市社会福祉協議会

TEL 0948-42-0751 FAX 0948-83-8005

コラム交差点

私達夫婦は共働きの為、中学に入学する際に、放課後どうするかで思案していました。その時「はぐるま」(嘉麻北日中一時支援事業所)の事を教えて下さったのが、小学校の上学年から、夏休み、冬休みにお世話になっていて、旧庄内町の「支援センター」ばらそるです。将来を考えて、地元で中学でなく養護学校を選びました。友達もいなく、分からない事、知らない事だらけで不安がいっぱいでした。とりわけ障がいがあり、言葉がまだでない我が子にとって放課後の事が何よりの心配でした。

「はぐるま」は当初数人と、利用されている方も少なく、ゆつたりしたものではない。息子は学校と放課後と2つの環境が変わった中でも少しずつ新しい生活になじんでいきました。「はぐるま」は養護学校の裏門と向かい合い、学校が終わる3時には迎えに行ってください、息子にとって無理がなく、私達にとっては有難い場所にあります。

養護学校で年を重ねるうちに、他の施設の仕事や事業所の事も先輩のお母さん方から教えてもらえる様になりました。しかし、私達夫婦は、最初お世話になりました。助けてもらった「はぐるま」一筋で3年を過ごしました。夏祭り、音楽療法、バスハイク、クリスマス会、お別れ会など、色々催し物もして下さり、春夏秋冬と長期の休みにも普通の学童のように預かってくれます。4月から直方養護に行く予定ですが、18歳迄利用できるのも、本当に有難い事です。毎年、年度変わりにはアンケートを出されて、内容も保護者の要望も考慮して下さいます。職員の方も学校行事に応援に来てくれたり、子ども達をとて可愛がってくれます。私達夫婦が共働きを続けていけるのは、色んな人の助けがあり「はぐるま」があったからだと思います。

編集後記

表紙の写真を撮り終わった後、子どもたちが「ありがとうございました」と元気いっぱいに挨拶してくれ、顔がほころびました。こちらこそ、寒空の下なのにたくさんのかわいい笑顔をありがとうございました。



(きはら)



(みぞくち)

リユースセンターやおしゃべりサロンによく来てくれる子どもたちが、4月からは保育園、小学校に行くよという話を聞くようになりました。まだまだ寒い日は続きそうですが、春を迎える準備の時期ですね。暖かい春が待ち遠しいです。

絵:めぐみ保育園の園児さん